

令和6年度 上婦負ケーブルテレビ株式会社 番組審議会

1. 開催日時

2025年2月13日(木) 午後6時より

2. 開催場所

富山市婦中町羽根 827-1 上婦負ケーブルテレビ株式会社

3. 出席委員（敬称略）

委員長

山口 吉弘（速星地区ふるさとづくり推進協議会 会長）

委員

浅野 政季（神保地区ふるさとづくり推進協議会 副会長）

坂川 智幸（富山市朝日公民館主事）

木村 宏（宮川地区ふるさとづくり推進協議会 会長）

山田 憲彰（山田地域自治振興会 会長）

平野 利彦（音川地区ふるさとづくり推進協議会 会長）

野中 明（鶴坂地区ふるさとづくり推進協議会 会長）

欠席委員(敬称略)

西島 清一（婦中熊野地区ふるさとづくり推進協議会 会長）

山田 政夫（古里自治振興会 会長）

上婦負ケーブルテレビ出席者

竹内 茂 代表取締役社長

井林 孝仁 取締役 営業・工事技術部部長

小林 拓郎 営業・制作部次長

井城 将志 営業・制作部課長

稲本 志津江 営業・制作部

4. 主な意見

事前に新春特番「KCT トピックス PLUS～2024年の話題を振り返る～」を収録したDVDを視聴

- ・今回のDVDを観ても、毎回内容やカメラワークがほとんど同じように感じる。
- ・実行委員会の議論の模様や、子供達の準備・練習風景も映像に取り入れてはどうか。
- ・裏方で動いている人たちの様子も伝えることで、番組が面白くなるのではないか。
- ・神保地区のニュースで、「やんさおどり」を小学生に教えている場面があり、世代間交流や、伝統芸能を継承する様子が伝わりインパクトがあった。

- ・地域映像のアーカイブとしては欠かせない。
- ・スタッフが入り込めないようなところも撮ってもらっている。
- ・今後何が起こるか分からない状況の中で、いざ行事を復活させよとした時に、上婦負ケーブルテレビのデータは絶対に必要。
- ・イベント等のメイキング映像に関しては、運営側からの積極的な声掛けも必要。
- ・笹倉地区では獅子舞の練習用に DVD を作成してもらい、基本練習に利用している。
- ・存続していくためには、若い人たちに集まってもらわなければならないので、非常に助かっている。
- ・撮影や編集などは、プロの仕事だなと感心して観ることができた。一方、限られた人員・時間の中、地域の文化や行事を大切に配信していると感じられたが、中々撮り切れない部分もあると思う。
例えば、GoPro や Osmo（ポケットカメラ）などを地域に貸し出して、カメラ数を増やすと情報の魅力が増す。また、ボランティアを募り、人員を補うことはできないだろうか。映像に興味のある小中学生の体験学習を通して、番組編集の大変さを知ってもらうなど、人材を育てる取り組みも考えられる。
- ・過去に、新嘗祭に献上する米の田植えから収穫までの動画を、上婦負ケーブルテレビと共同で制作したこともあったが、プロの映像に感心させられた。
- ・大雪時の状況確認など、ライブカメラが地域住民に大変喜ばれている。
- ・大事な映像を残してもらっているのは間違いない。若い子達にも、地域の魅力を観てもらうための工夫が必要だと思う。スマホや携帯でも視聴できる環境を作ることが時代の流れ的にも必要。
- ・番組で、行事等の裏方を取り上げると面白いと思う。
- ・コロナ禍に公民館で敬老会が開催できなかった為、上婦負ケーブルテレビに「おうちで敬老会」を制作してもらったのだが、非常に評判が良かった。地域の世代間交流や感謝祭などをメディアに取り上げられることで、地域の人たちの元気や勇気が出てくる。ニューヨーク・タイムズ紙「2025 年に行くべき 52 カ所」に富山市が選出されたこともあり、各地域のイベントを旅行者に認知してもらうため、観光協会とのタイアップなどで、観光産業を掘り起こせるのではないかな。

以上